

「地域づくりの目標」に関連するデータ

《第 1 回勉強会で要望のあった資料》

①平成 23 年度 沼津市決算資料(沼津市提供資料)…P1

②財政見直し改定の概要(沼津市提供資料)…P9

③日本の市区町村別将来人口推計(平成 20 年 12 月推計)

(平成 20 年 12 月 国立社会保障・人口問題研究所)…P13

④昼間人口・通勤、通学者状況(静岡県統計年鑑 平成 22 年度)…P27

⑤静岡県総合計画

富国有徳の理想郷“ふじのくに”のランドデザイン 基本構想

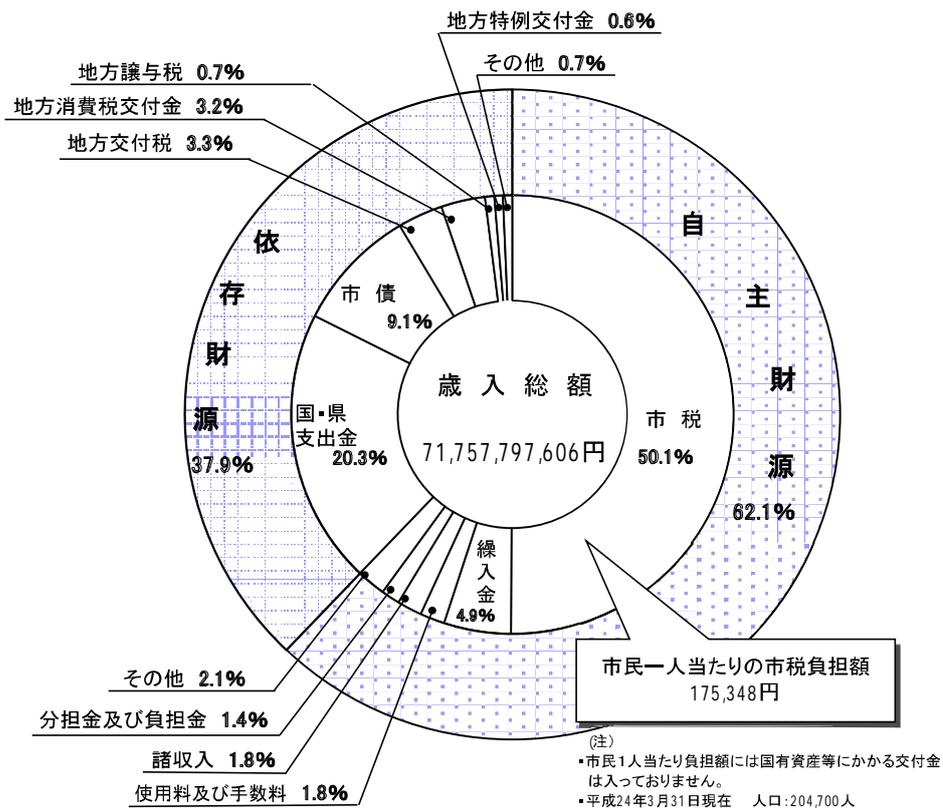
(静岡県 平成 23 年 3 月)…P28

沼津市提供資料

平成23年度一般会計決算（歳入）

歳入総額 717億5,779万7,606円

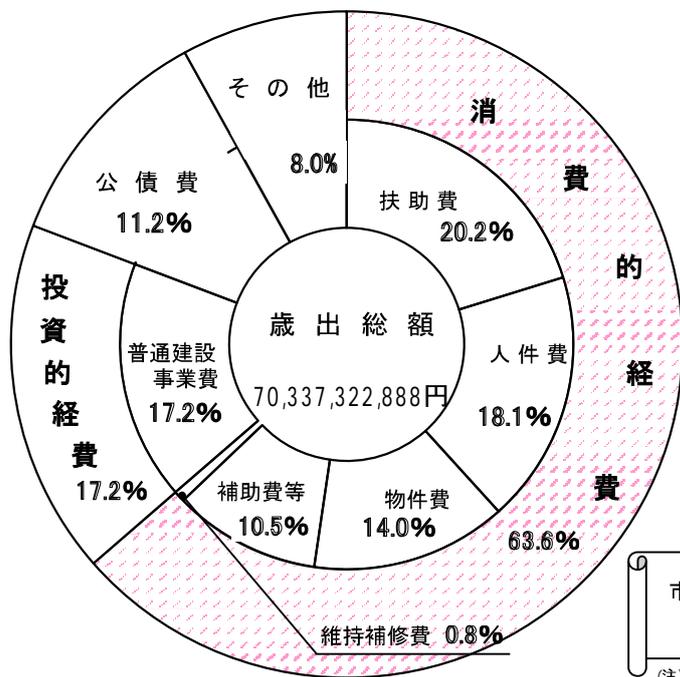
区 分	予算現額 (千円)	収入済額 (千円)	予算に 対する増減 (千円)	対予算 収入率 (%)	構成比 (%)
1 市税	35,500,000	35,963,810	463,810	101.3	50.1
2 地方譲与税	650,000	538,323	△ 111,677	82.8	0.7
3 利子割交付金	120,000	97,131	△ 22,869	80.9	0.1
4 配当割交付金	50,000	59,213	9,213	118.4	0.1
5 株式等譲渡所得割交付金	50,000	16,937	△ 33,063	33.9	0.0
6 地方消費税交付金	2,400,000	2,282,269	△ 117,731	95.1	3.2
7 ゴルフ場利用税交付金	110,000	120,266	10,266	109.3	0.2
8 自動車取得税交付金	300,000	155,113	△ 144,887	51.7	0.2
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	200	300	100	150.0	0.0
10 地方特例交付金	399,000	399,766	766	100.2	0.6
11 地方交付税	2,263,804	2,378,435	114,631	105.1	3.3
12 交通安全対策特別交付金	60,000	52,742	△ 7,258	87.9	0.1
13 分担金及び負担金	988,170	1,002,242	14,072	101.4	1.4
14 使用料及び手数料	1,292,195	1,305,494	13,299	101.0	1.8
15 国庫支出金	11,574,210	10,125,003	△ 1,449,207	87.5	14.1
16 県支出金	5,278,426	4,445,610	△ 832,816	84.2	6.2
17 財産収入	607,179	599,121	△ 8,058	98.7	0.8
18 寄附金	1,877	2,234	357	119.0	0.0
19 繰入金	4,492,978	3,553,490	△ 939,488	79.1	4.9
20 繰越金	911,209	911,209	0	100.0	1.3
21 諸収入	1,167,523	1,257,590	90,067	107.7	1.8
22 市債	8,436,400	6,491,500	△ 1,944,900	76.9	9.1
合計	76,653,171	71,757,798	△ 4,895,373	93.6	100.0



平成23年度一般会計決算（歳出）

歳出総額 703億3,732万2,888円

区 分		予算現額 (千円)	支出済額 (千円)	予算残額 (千円)	執行率 (%)	構成比 (%)
1	議会費	567,170	552,796	14,374	97.5	0.8
2	総務費	7,170,148	6,783,237	386,911	94.6	9.6
3	民生費	24,049,896	22,917,163	1,132,733	95.3	32.6
4	衛生費	7,721,421	7,590,887	130,534	98.3	10.8
5	労働費	114,384	112,858	1,526	98.7	0.2
6	農林水産業費	1,102,047	799,973	302,074	72.6	1.1
7	商工費	1,101,488	1,047,638	53,850	95.1	1.5
8	土木費	15,720,102	12,216,906	3,503,196	77.7	17.4
9	消防費	3,368,382	3,255,805	112,577	96.7	4.6
10	教育費	7,714,592	7,197,170	517,422	93.3	10.2
11	災害復旧費	40	0	40	0.0	0.0
12	公債費	8,012,891	7,862,890	150,001	98.1	11.2
13	予備費	10,610	0	10,610	-	-
合計		76,653,171	70,337,323	6,315,848	91.8	100.0



市民一人当たりの支出額
343,612円

(注)
・平成24年3月31日現在 人口:204,700人

平成23年度特別会計決算

区 分	予算現額	歳 入			歳 出		
		収入済額	予算に 対する 増減	収入率 (対予算) %	支出済額	予算残額	執行率
国民健康保険事業	千円 22,813,965	千円 23,338,548	千円 524,583	% 102.3	千円 22,150,012	千円 663,953	% 97.1
土地取得事業	381,900	334,261	△ 47,639	87.5	334,261	47,639	87.5
介護保険事業	12,468,148	12,328,869	△ 139,279	98.9	12,293,867	174,281	98.6
簡易水道事業	8,200	8,740	540	106.6	7,643	557	93.2
温泉施設事業	23,600	24,552	952	104.0	23,280	320	98.6
後期高齢者医療事業	1,911,000	1,860,758	△ 50,242	97.4	1,855,286	55,714	97.1
計	37,606,813	37,895,728	288,915	100.8	36,664,349	942,464	97.5

平成23年度企業會計決算

病院事業會計

	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
	千円	千円	%
収 益 の 収 入	11,040,400	10,173,727	92.1
収 益 の 支 出	11,145,891	10,865,209	97.5
資 本 の 収 入	1,408,561	1,404,834	99.7
資 本 の 支 出	1,550,109	1,540,862	99.4

水道事業會計

	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
	千円	千円	%
収 益 の 収 入	3,571,638	3,463,604	97.0
収 益 の 支 出	2,805,891	2,539,413	90.5
資 本 の 収 入	951,917	772,642	81.2
資 本 の 支 出	2,469,619	2,340,861	94.8

国民宿舎事業會計

	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
	千円	千円	%
収 益 の 収 入	0	0	0.0
収 益 の 支 出	5,158	3,479	67.5
資 本 の 収 入	0	0	0.0
資 本 の 支 出	22,242	22,242	99.9

下水道事業會計

	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
	千円	千円	%
収 益 の 収 入	4,044,000	4,017,267	99.3
収 益 の 支 出	4,275,500	4,014,344	93.9
資 本 の 収 入	4,065,385	3,028,622	74.5
資 本 の 支 出	5,608,798	4,615,827	82.3

財政指標(普通会計)

年度	財政力指数	標準財政規模(千円)	経常収支比率	実質収支比率	公債費比率	起債制限比率	公債費負担比率
21	1.110	42,120,555	80.9	3.7	12.6	10.3	14.7
22	1.046	40,546,896	82.0	1.4	12.4	10.1	14.9
23	0.989	40,270,439	82.8	2.9	12.6	10.3	15.1

用語説明

- 財政力指数.....地方交付税の規定により算出した数値で、地方公共団体の財政力を示す数値。
 国からの「普通交付税」は単年度の当該指数が「1.0」未満の団体に交付される。
 算出方法 基準財政収入額÷基準財政需要額＝数値の過去3カ年平均値
- 標準財政規模.....地方公共団体の標準的な状態で通常収入される見込みの経常的な一般財源の規模を示すもの。
 算出方法 (基準財政収入額－地方譲与税－交通安全対策特別交付金－税源移譲の25%)×100/75
 ＋地方譲与税＋交通安全対策特別交付金＋普通交付税
 ※地方譲与税には所得譲与税を含まない。また、税源移譲の算入は平成19年度から。
 ※平成20年度から臨時財政対策債発行可能額を含む。
- 経常収支比率.....人件費、扶助費、公債費、物件費等の経常経費に、市税、地方譲与税等を中心とする経常的な一般財源の充当割合をいい財政構造の弾力性を測定する比率。
- 実質収支比率.....標準財政規模と臨時財政対策債発行可能額(平成19年度以降)の和に対する実質収支額(歳入歳出差引額から繰越財源を控除した決算額)の割合。
- 公債費比率.....地方債の発行に伴う毎年度の元利償還金(公債費)の額が適当かどうかにより、年度の地方債の借入(発行)を判断する指標で、この公債費の一般財源に占める割合が比率。
 経常収支比率とともに財政構造の弾力性をみる上で重要である。この比率が高いほど財政硬直化の一因となる。
- 起債制限比率.....地方債の許可制限に係る指標として地方債許可方針に制定された指標(過去3年度の平均)。20%を超えると一部起債の発行が制限される。
- 公債費負担比率.....歳出総額の一般財源等のうち、公債費に充てられた一般財源等の割合を示し、財政構造の弾力性を判断する指標。

健全化判断比率等

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
23年度決算	赤字額なし	赤字額なし	8.2%	81.0%
早期健全化基準	11.45%	16.45%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	

	資金不足比率	経営健全化基準
病院事業会計	5.9%	20.0%

※その他の会計は資金の不足額なし

用語説明

- 実質赤字比率**.....一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率。
福祉、教育、まちづくり等を行う地方公共団体の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す。
- 連結実質赤字比率**.....公営企業会計を含む全会計を対象とした実質赤字額又は資金の不足額の標準財政規模に対する比率。
すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての財政運営の悪化の度合いを示す。
- 実質公債費比率**.....一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の、標準財政規模を基本とした額に対する比率。
借入金(地方債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す。
- 将来負担比率**.....地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模を基本とした額に対する比率。
一般会計等の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す。
- 早期健全化基準**.....地方公共団体が、財政収支が不均衡な状況その他の財政状況が悪化した状況において、自主的かつ計画的に財政の健全化を図るべき基準として、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、及び将来負担比率のそれぞれについて定められた数値。
- 財政再生基準**.....地方公共団体が、財政収支の著しい不均衡その他の財政状況の著しい悪化により自主的な財政の健全化を図ることが困難な状況において、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、及び将来負担比率のそれぞれについて、早期健全化基準を超えるものとして定められた数値。
- 資金不足比率**.....公営企業会計ごとの資金の不足額の、事業の規模に対する比率。
公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態悪化の度合いを示す。
- 経営健全化基準**.....地方公共団体が、自主的かつ計画的に公営企業の経営の健全化を図るべき基準として、資金不足比率について定められた数値。

沼津市提供資料

財政見直し改定の概要

主な改定の内容は、以下のとおりである。

1 経済成長の予測

「経済財政の中長期試算」（平成 23 年 1 月内閣府公表）等に準拠し、名目成長率を以下のとおりとした。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
名目成長率	1.1	0.5	1.3	2.0	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.8
前回(H20)	1.5	2.3	1.6	2.1	2.3	2.8	2.6	2.7	2.6		

2 市税

リーマンショックの影響による市民税の減などに、今後の経済長率を考慮する中で、対象期間内における市税総額は、3,837 億を確保できるものと推計した。

前回財政見直しと比較し、約 199 億円の減

3 市債

想定される大規模事業など前期推進計画に掲げた主要事業及び沼津駅周辺総合整備事業などの財源として 864 億円を見込んだ。

前回財政見直しと比較し、約 18 億円の増

4 扶助費

生活保護費などの扶助費を毎年約 4.0%の増加を見込んだ。

前回見直しは 6.5%の増加

5 普通建設事業費

想定される大規模事業など前期推進計画に掲げた主要事業及び沼津駅周辺総合整備事業などの計画に基づき 1,636 億円を見込んだ。

前回財政見直しと比較し、約 194 億円の減

6 公債費

市債償還にかかる費用として 808 億円を見込んだ。

前回財政見直しと比較し、約 21 億円の減

7 財政指標

各指標とも、健全性を損なうことなく財政運営できることを示している。

	【公債費負担比率】	【起債制限比率】	【公債費比率】
ピーク時指標	15.4(H30)	10.3(H31)	12.7(H30)
前回(H20)	15.6(H25)	11.4(H26)	13.9(H25)

財 政 指 標 の 説 明

【公債費負担比率】

歳出総額の一般財源等のうち、公債費に充てられた一般財源等の割合を示し、財政構造の弾力性を判断する指標。

一般的に、15%超が黄信号、20%超が赤信号とされている。

【起債制限比率】

地方債の許可制限に係る指標として地方債許可方針に規定された指標(過去3年度の平均)。20%を超えると一部起債の発行が制限される。

【公債費比率】

地方債の発行に伴う毎年度の元利償還金(公債費)の額が適当かどうかにより、年度の地方債の借入(発行)を判断する指標で、この公債費の一般財源に占める割合が比率。

この比率が高いほど財政硬直化の一因となる。

財政見通し(平成23年度～32年度)

(参考)

(単位 百万円)

歳入	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度		H23～32合計	一般財源
	一般財源																							
市税	36,018	36,018	36,474	36,474	36,560	36,560	37,122	37,122	37,893	37,893	37,763	37,763	38,490	38,490	39,331	39,331	39,225	39,225	39,986	39,986	40,887	40,887	383,731	383,731
交付税・譲与税・交付金	6,031	6,031	5,980	5,980	5,945	5,945	6,017	6,017	6,100	6,100	6,185	6,185	6,220	6,220	6,205	6,205	6,192	6,192	6,181	6,181	6,192	6,192	61,217	61,217
国・県支出金	17,405	1,875	15,839	0	18,683	0	19,308	0	19,031	0	19,194	0	17,566	0	20,012	0	18,500	0	19,275	0	19,778	0	187,186	0
うち沼津駅周辺総合整備事業	531	0	991	0	6,782	0	4,164	0	2,015	0	832	0	669	0	2,249	0	845	0	1,107	0	1,201	0	20,855	0
使用料・手数料・繰越金・諸収入ほか	6,133	2,888	5,771	2,596	5,886	2,588	8,279	2,883	6,665	2,683	6,689	2,683	5,849	2,683	5,865	2,683	5,882	2,683	5,928	2,683	5,945	2,683	62,759	26,648
うち沼津駅周辺総合整備事業	6	0	0	0	44	0	2,000	0	10	0	10	0	10	0	10	0	10	0	30	0	30	0	2,154	0
繰入金	2,831	773	3,619	860	2,956	1,786	1,647	1,000	1,556	1,000	1,722	1,194	2,918	2,376	2,335	1,770	1,531	1,000	1,416	1,000	1,117	1,000	20,817	12,975
うち沼津駅周辺総合整備事業	1,722	0	2,624	0	1,170	0	647	0	556	0	528	0	543	0	565	0	531	0	416	0	117	0	7,697	0
市債	7,663	3,725	8,023	3,620	9,962	3,160	10,917	3,070	11,746	2,510	10,891	1,740	7,291	1,870	10,643	1,500	5,694	1,500	5,728	1,500	5,548	1,500	86,443	21,970
うち沼津駅周辺総合整備事業	456	0	1,051	0	5,200	0	3,952	0	3,022	0	2,174	0	2,007	0	2,403	0	2,008	0	2,143	0	2,187	0	26,147	0
合計	76,081	51,110	75,706	49,520	79,992	50,039	83,290	49,892	82,991	50,186	82,444	49,566	78,334	51,638	84,391	51,489	77,024	50,600	78,514	51,360	79,467	52,262	802,153	506,541

歳出	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度		H23～32合計	一般財源
	一般財源																							
人件費	13,218	12,148	12,495	11,305	12,313	11,317	12,399	11,327	12,241	11,307	12,263	11,248	12,240	11,334	11,741	10,844	11,702	10,913	11,374	10,554	11,070	10,284	119,838	110,431
物件費・維持補修費	9,960	7,985	9,969	8,005	9,951	8,003	9,996	7,985	9,933	7,985	9,975	8,005	9,972	8,003	9,975	7,985	9,933	7,985	9,990	8,005	9,939	7,985	99,633	79,946
扶助費・補助費・積立金ほか	16,805	6,246	17,943	6,320	18,483	6,482	19,623	7,223	20,279	7,457	20,290	7,030	20,945	7,230	21,636	7,440	22,378	7,678	23,542	8,314	25,005	9,224	210,124	74,398
普通建設事業	16,050	5,295	15,548	4,891	19,459	5,200	19,264	4,112	20,461	4,138	19,962	4,124	14,693	5,397	20,076	5,086	11,464	3,325	11,629	3,366	11,100	3,306	163,656	42,945
うち沼津駅周辺総合整備事業	3,977	1,268	5,360	694	17,562	4,366	10,126	1,363	6,684	1,081	3,894	350	3,553	324	5,624	397	3,733	339	4,043	347	3,811	276	64,390	9,537
公債費	8,151	8,151	7,923	7,923	7,906	7,906	7,953	7,953	7,829	7,829	7,503	7,503	7,820	7,820	8,073	8,073	8,420	8,420	8,602	8,602	8,717	8,717	80,746	80,746
うち沼津駅周辺総合整備事業	135	135	137	137	157	157	275	275	302	302	418	418	717	717	952	952	1,150	1,150	1,292	1,292	1,414	1,414	6,814	6,814
繰出金	9,889	9,278	9,828	9,078	9,880	9,131	12,055	9,292	10,248	9,470	10,451	9,657	10,664	9,854	10,890	10,081	11,127	10,279	11,377	10,509	11,636	10,748	108,156	98,075
うち沼津駅周辺総合整備事業	0	0	0	0	0	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000	0
合計	74,073	49,102	73,706	47,520	77,992	48,039	81,290	47,892	80,991	48,186	80,444	47,566	76,334	49,638	82,391	49,489	75,024	48,600	76,514	49,360	77,467	50,262	782,153	486,541

財政指標	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
市債残高	72,471	73,846	77,197	81,524	86,897	91,862	93,021	97,318	96,420	95,372	94,023
公債費負担比率	14.7	14.9	16.0	14.7	14.3	13.9	14.3	14.7	15.4	15.3	14.9
起債制限比率	10.2	10.2	10.2	10.1	10.0	9.7	9.6	9.7	10.0	10.3	10.2
公債費比率	12.6	12.2	12.4	12.1	11.8	11.4	11.8	12.1	12.7	12.6	12.1

市の財政状況を

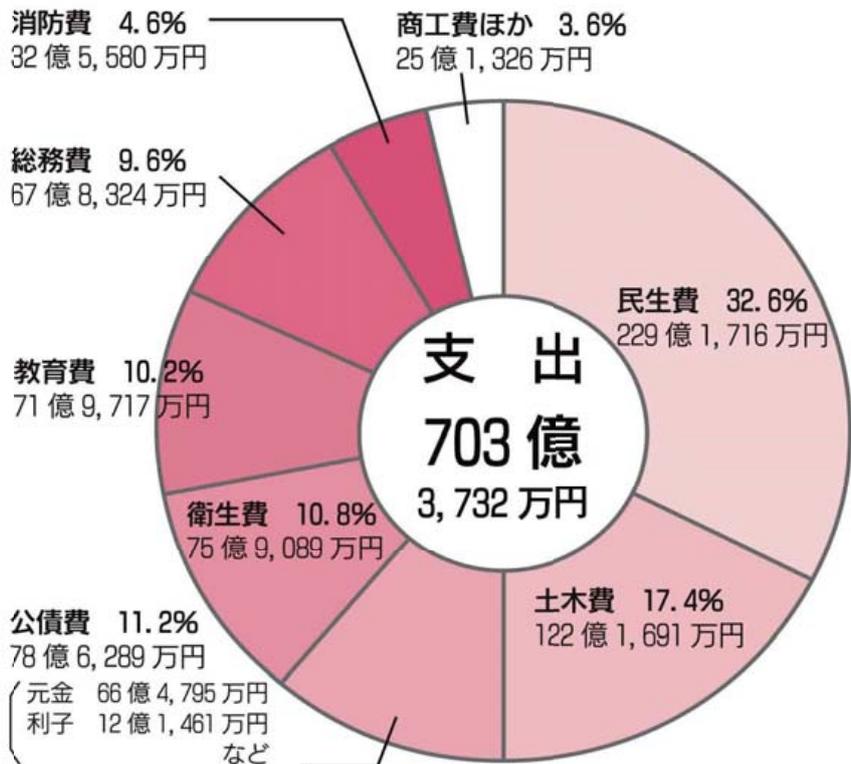
平成 23 年度 沼津市の決算状況

一般会計

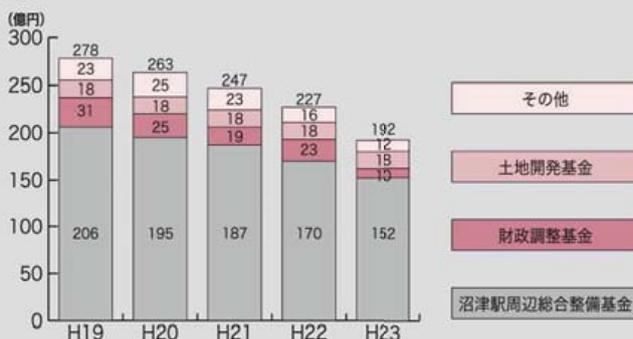
用語解説

【支出】

- ▶ **民生費**…子どもや高齢者等の福祉に使うお金
- ▶ **土木費**…道路や河川整備などに使うお金
- ▶ **公債費**…借り入れた地方債(市債)の返済金(元金と利子)など
- ▶ **衛生費**…保健やごみ処理などに使うお金
- ▶ **教育費**…学校・生涯教育、文化・スポーツ振興に使うお金
- ▶ **総務費**…市役所の経営管理、戸籍の管理、選挙などに使うお金
- ▶ **消防費**…消防車両の維持や防災資機材の整備などに使うお金
- ▶ **商工費ほか**…商工業・農林水産業の振興など、その他に使うお金



基金の残高推移



公共事業に必要となる土地を事前に購入するための基金です。

経済不況や災害等の予期せぬ支出などに備えて積み立てておく基金です。

沼津駅周辺総合整備に要する経費に充てるための基金です。

※基金には、現金のほか、貸付金、有価証券などが含まれます。

日本の市区町村別将来推計人口

(平成 20 年 12 月推計)

—平成 17(2005)～47(2035)年—

平成 20 年 12 月

国立社会保障・人口問題研究所

人口構造研究部

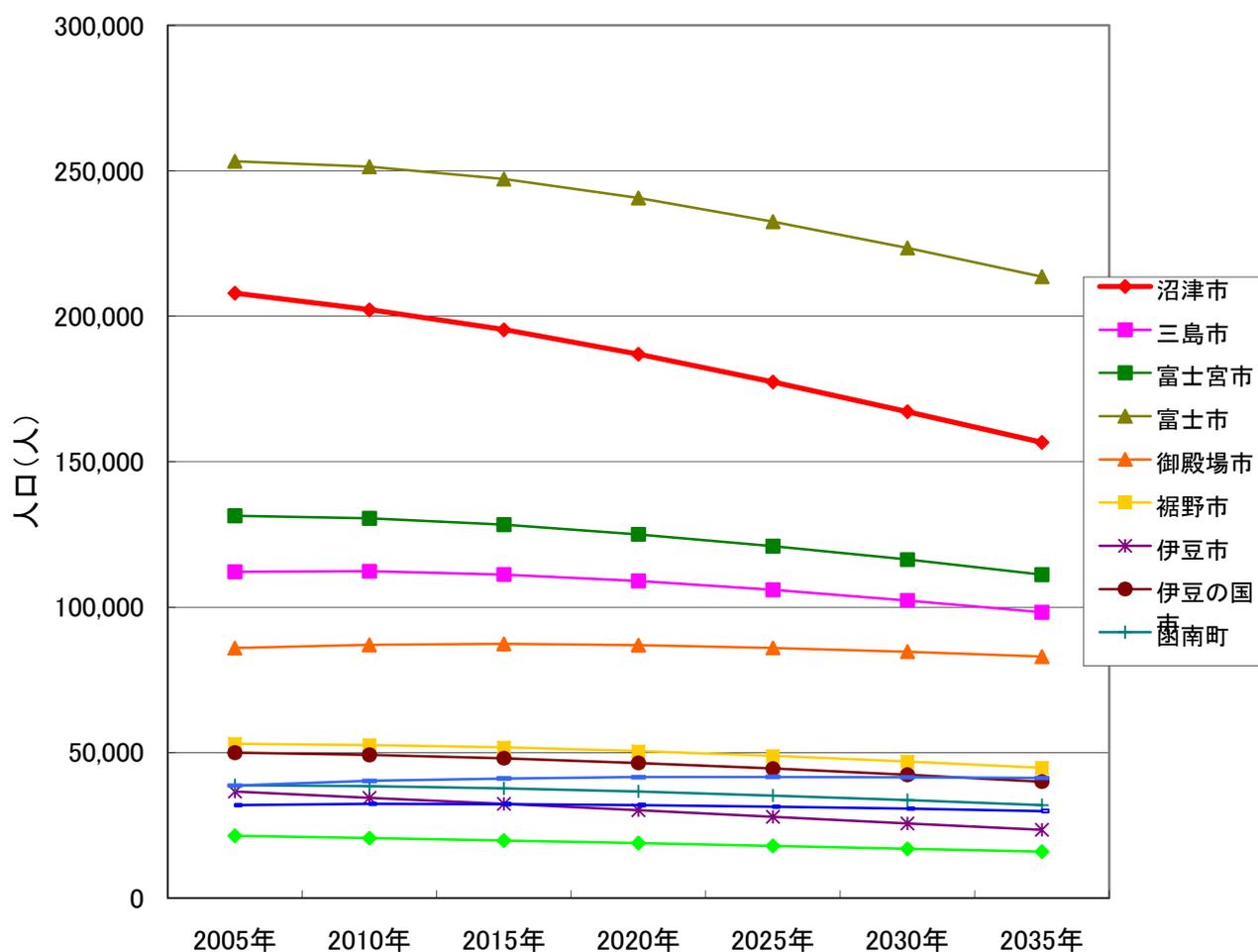
03(3595)2984 内線 4461

<http://www.ipss.go.jp/>

市町別将来推計人口

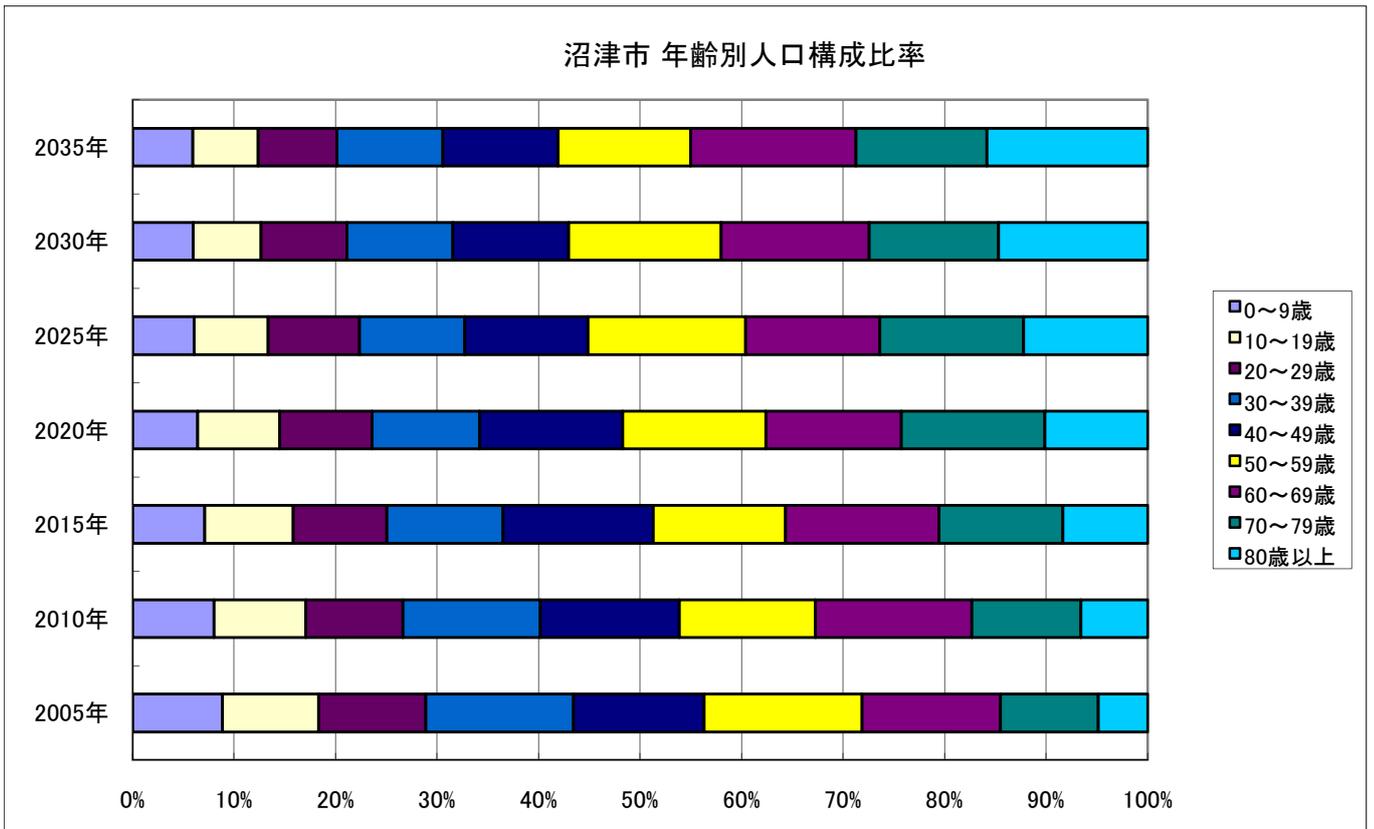
	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
沼津市	208,005	202,270	195,419	186,969	177,438	167,254	156,688
三島市	112,241	112,382	111,276	109,066	106,000	102,360	98,276
富士宮市	131,476	130,603	128,381	125,074	121,012	116,411	111,235
富士市	253,297	251,423	247,170	240,658	232,562	223,505	213,616
御殿場市	85,976	87,132	87,450	86,992	86,050	84,750	83,059
裾野市	53,062	52,685	51,831	50,527	48,911	47,008	44,834
伊豆市	36,627	34,524	32,435	30,219	27,959	25,712	23,500
伊豆の国市	50,011	49,297	48,117	46,502	44,560	42,396	40,081
函南町	38,803	38,494	37,783	36,702	35,304	33,699	31,975
清水町	31,961	32,412	32,363	32,034	31,477	30,784	29,979
長泉町	38,716	40,318	41,163	41,621	41,710	41,584	41,355
小山町	21,478	20,646	19,828	18,924	17,981	17,011	15,997

市町別将来推計人口



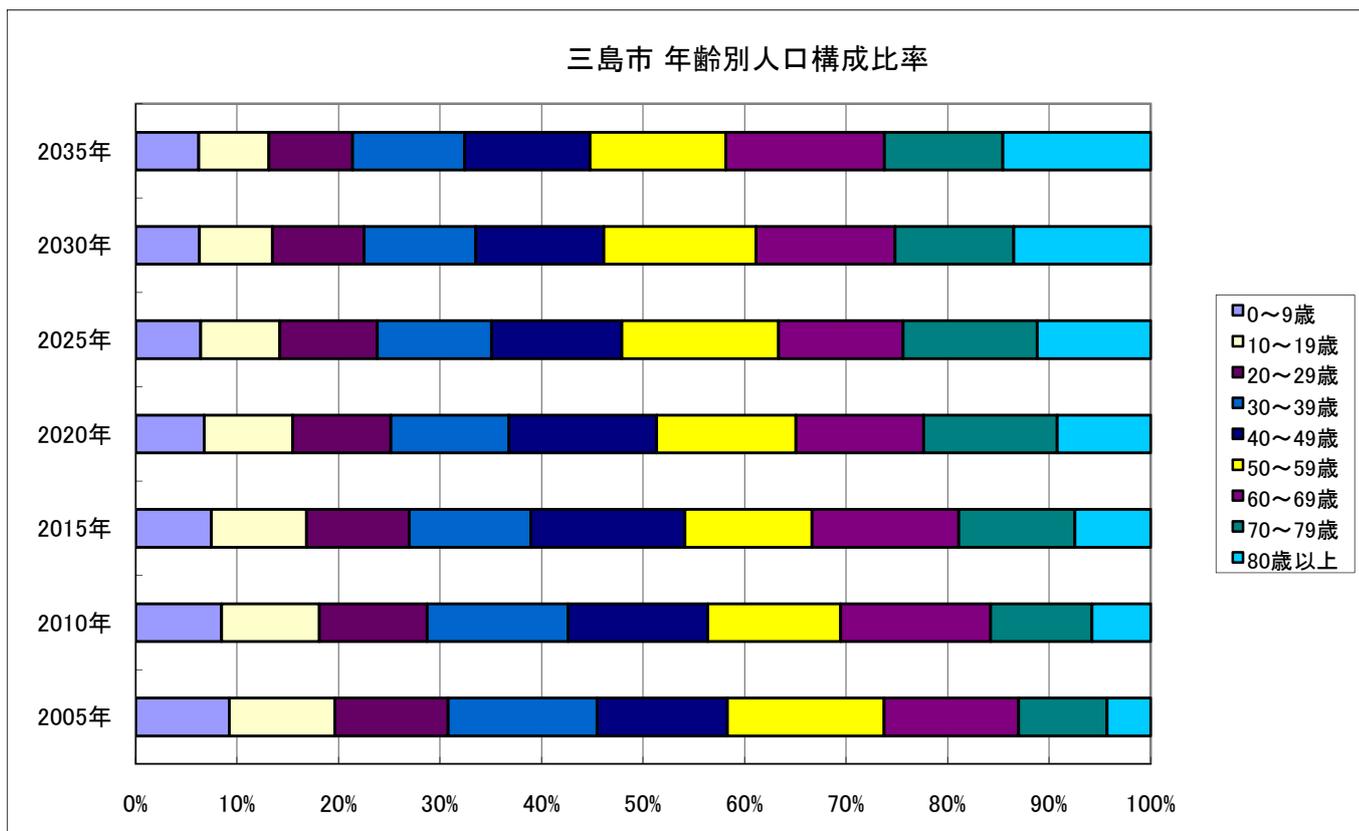
沼津市

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	208,005	202,270	195,419	186,969	177,438	167,254	156,688
0～9歳	18,377	16,224	13,853	11,953	10,767	9,972	9,297
10～19歳	19,727	18,258	17,082	15,159	12,935	11,174	10,074
20～29歳	21,992	19,398	18,020	17,002	15,928	14,186	12,176
30～39歳	30,201	27,354	22,342	19,806	18,428	17,425	16,318
40～49歳	26,830	27,729	28,943	26,372	21,538	19,095	17,773
50～59歳	32,318	27,097	25,417	26,368	27,542	25,094	20,501
60～69歳	28,404	31,142	29,562	24,912	23,454	24,384	25,503
70～79歳	20,021	21,771	23,881	26,451	25,173	21,312	20,218
80歳以上	10,130	13,297	16,319	18,945	21,672	24,612	24,827



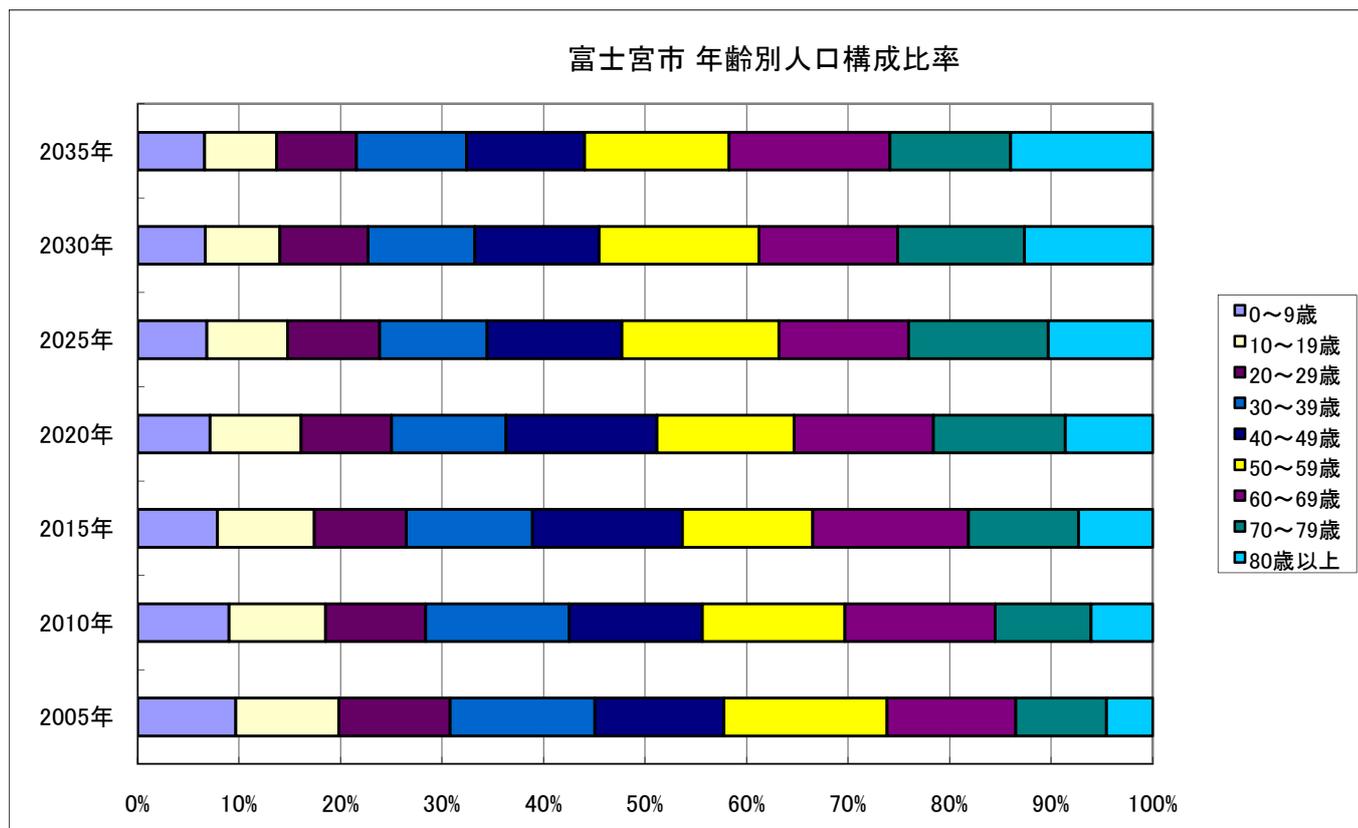
三島市

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	112,241	112,382	111,276	109,066	106,000	102,360	98,276
0～9歳	10,367	9,505	8,281	7,353	6,782	6,418	6,103
10～19歳	11,651	10,839	10,446	9,512	8,285	7,362	6,795
20～29歳	12,536	11,938	11,240	10,554	10,163	9,275	8,116
30～39歳	16,480	15,600	13,354	12,696	11,949	11,244	10,834
40～49歳	14,404	15,467	16,890	15,853	13,585	12,900	12,135
50～59歳	17,307	14,706	13,918	14,970	16,359	15,350	13,162
60～69歳	14,876	16,582	16,086	13,716	13,024	14,034	15,360
70～79歳	9,776	11,227	12,757	14,375	13,987	11,965	11,459
80歳以上	4,844	6,520	8,304	10,039	11,865	13,813	14,314



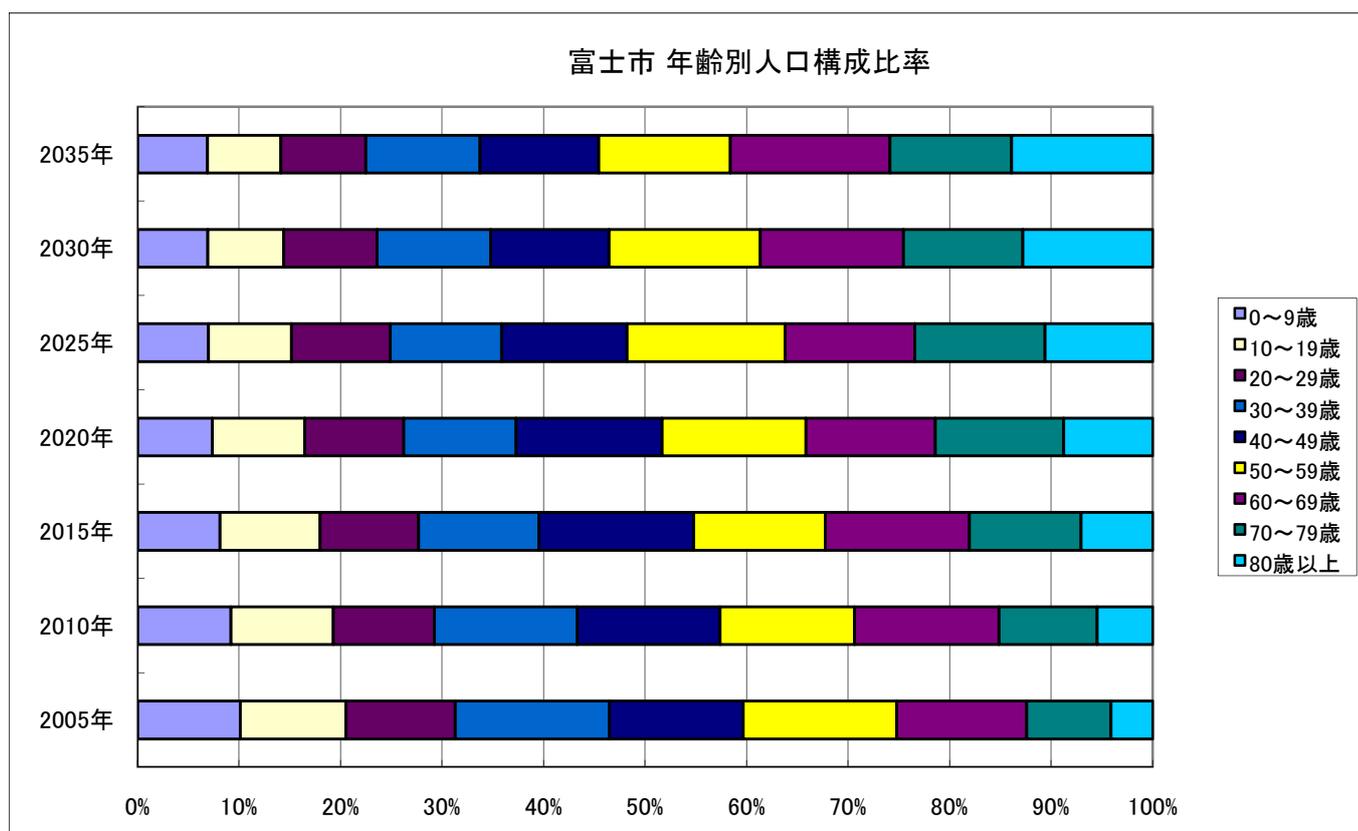
富士宮市

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	131,476	130,603	128,381	125,074	121,012	116,411	111,235
0～9歳	12,727	11,746	10,100	8,933	8,240	7,767	7,327
10～19歳	13,341	12,423	12,249	11,211	9,643	8,546	7,892
20～29歳	14,404	12,893	11,636	11,124	10,976	10,117	8,750
30～39歳	18,733	18,462	15,945	14,119	12,789	12,257	12,081
40～49歳	16,710	17,118	18,978	18,604	16,074	14,244	12,911
50～59歳	21,135	18,371	16,471	16,883	18,728	18,340	15,852
60～69歳	16,697	19,315	19,708	17,164	15,451	15,882	17,635
70～79歳	11,721	12,343	13,893	16,279	16,661	14,552	13,195
80歳以上	6,008	7,933	9,399	10,756	12,451	14,706	15,590



富士市

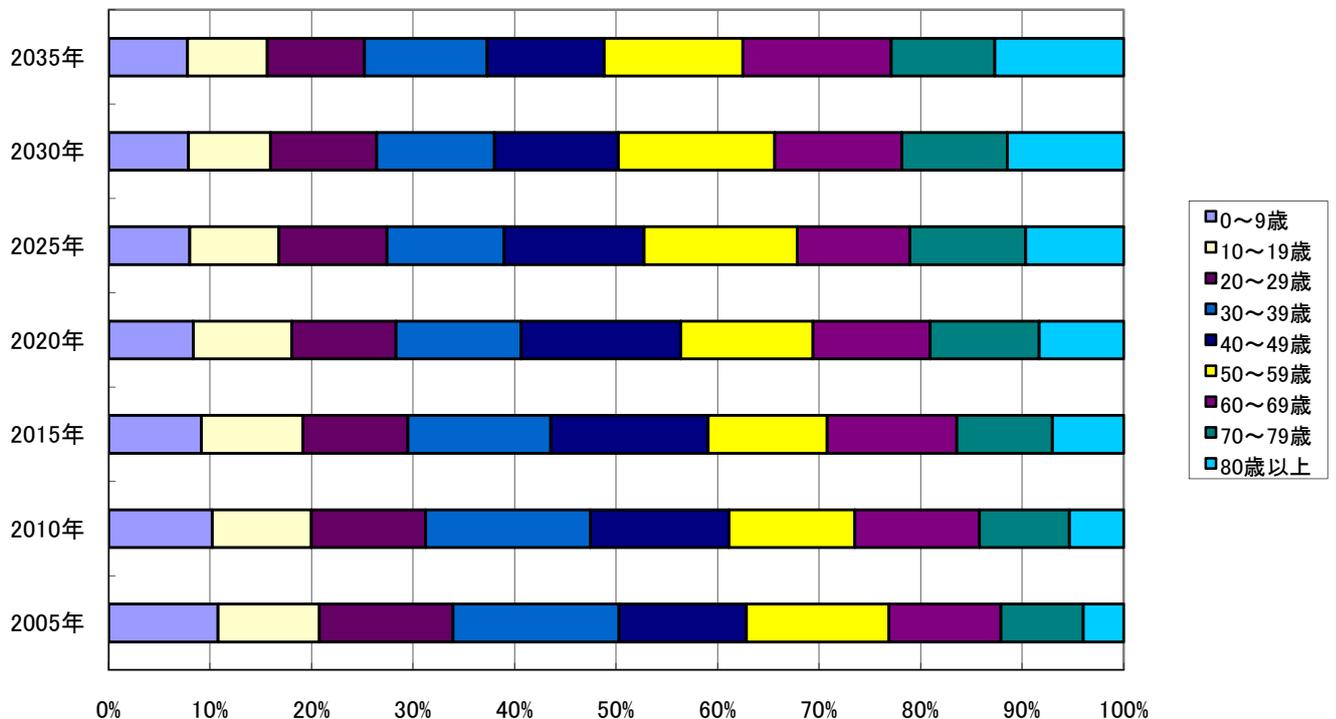
総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	253,297	251,423	247,170	240,658	232,562	223,505	213,616
0～9歳	25,631	23,124	20,086	17,679	16,237	15,418	14,716
10～19歳	26,326	25,310	24,310	21,926	19,034	16,774	15,424
20～29歳	27,260	25,080	23,968	23,524	22,632	20,504	17,901
30～39歳	38,526	35,323	29,354	26,609	25,455	25,010	24,039
40～49歳	33,395	35,425	37,669	34,622	28,770	26,083	24,959
50～59歳	38,294	33,295	32,038	34,048	36,228	33,279	27,669
60～69歳	32,382	35,829	35,121	30,674	29,645	31,564	33,625
70～79歳	21,080	24,288	27,161	30,455	29,912	26,238	25,565
80歳以上	10,406	13,751	17,462	21,124	24,647	28,634	29,718



御殿場市

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	85,976	87,132	87,450	86,992	86,050	84,750	83,059
0～9歳	9,269	8,909	7,978	7,262	6,887	6,661	6,456
10～19歳	8,587	8,500	8,756	8,417	7,534	6,865	6,517
20～29歳	11,293	9,805	9,040	8,959	9,188	8,856	7,959
30～39歳	14,074	14,138	12,303	10,711	9,902	9,821	10,033
40～49歳	10,788	11,891	13,578	13,669	11,891	10,354	9,578
50～59歳	12,068	10,795	10,254	11,342	12,961	13,053	11,356
60～69歳	9,506	10,696	11,174	10,026	9,561	10,597	12,128
70～79歳	6,965	7,739	8,226	9,347	9,802	8,814	8,467
80歳以上	3,426	4,661	6,141	7,259	8,324	9,729	10,564

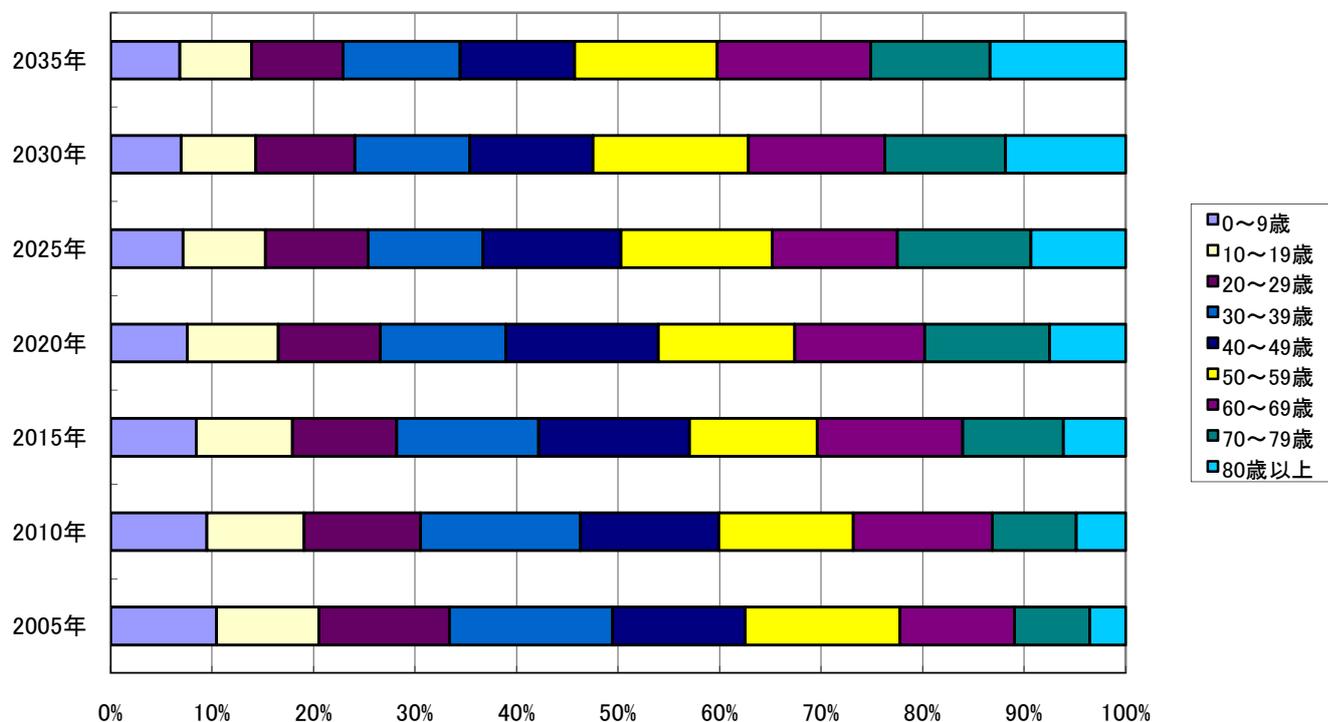
御殿場市 年齢別人口構成比率



裾野市

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	53,062	52,685	51,831	50,527	48,911	47,008	44,834
0～9歳	5,538	4,987	4,374	3,816	3,483	3,260	3,057
10～19歳	5,353	5,056	4,917	4,527	3,968	3,464	3,165
20～29歳	6,829	6,036	5,308	5,081	4,958	4,585	4,045
30～39歳	8,527	8,296	7,256	6,238	5,524	5,316	5,170
40～49歳	6,919	7,184	7,708	7,606	6,649	5,718	5,063
50～59歳	8,085	6,988	6,512	6,789	7,293	7,192	6,287
60～69歳	5,999	7,209	7,439	6,462	6,035	6,309	6,789
70～79歳	3,938	4,366	5,132	6,222	6,426	5,597	5,271
80歳以上	1,873	2,564	3,186	3,787	4,574	5,566	5,989

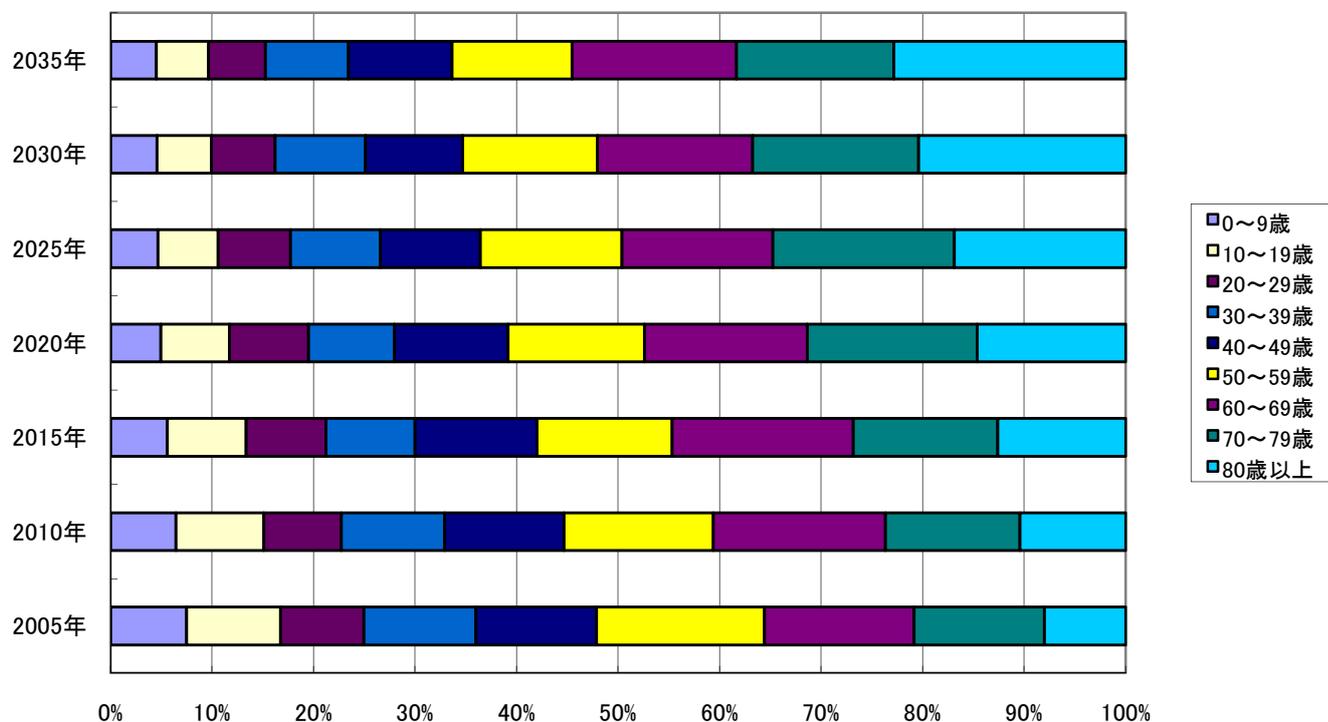
裾野市 年齢別人口構成比率



伊豆市

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	36,627	34,524	32,435	30,219	27,959	25,712	23,500
0～9歳	2,737	2,223	1,807	1,498	1,304	1,177	1,062
10～19歳	3,393	2,992	2,518	2,040	1,659	1,378	1,204
20～29歳	3,007	2,636	2,556	2,357	1,989	1,611	1,316
30～39歳	4,046	3,505	2,849	2,553	2,478	2,285	1,926
40～49歳	4,353	4,068	3,890	3,383	2,750	2,464	2,393
50～59歳	6,056	5,074	4,324	4,056	3,900	3,412	2,781
60～69歳	5,397	5,856	5,785	4,851	4,162	3,931	3,805
70～79歳	4,709	4,578	4,619	5,061	4,995	4,208	3,641
80歳以上	2,929	3,594	4,089	4,419	4,722	5,244	5,372

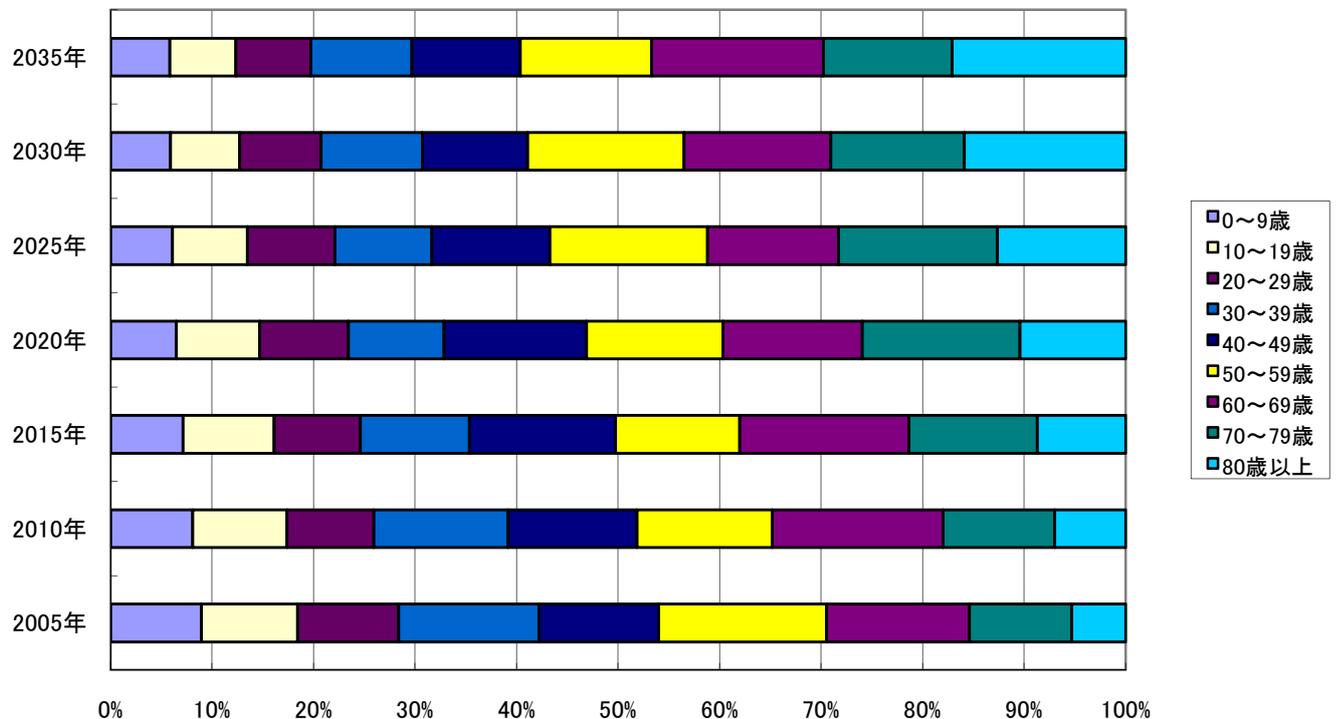
伊豆市 年齢別人口構成比率



伊豆の国市

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	50,011	49,297	48,117	46,502	44,560	42,396	40,081
0～9歳	4,477	3,980	3,437	3,004	2,707	2,498	2,342
10～19歳	4,731	4,583	4,314	3,818	3,296	2,886	2,604
20～29歳	4,981	4,213	4,093	4,070	3,839	3,408	2,957
30～39歳	6,915	6,525	5,159	4,376	4,255	4,232	3,990
40～49歳	5,891	6,264	6,935	6,540	5,178	4,399	4,275
50～59歳	8,282	6,561	5,884	6,250	6,921	6,531	5,185
60～69歳	7,039	8,298	8,023	6,373	5,750	6,125	6,788
70～79歳	5,039	5,418	6,082	7,231	6,974	5,573	5,086
80歳以上	2,658	3,455	4,190	4,840	5,638	6,744	6,855

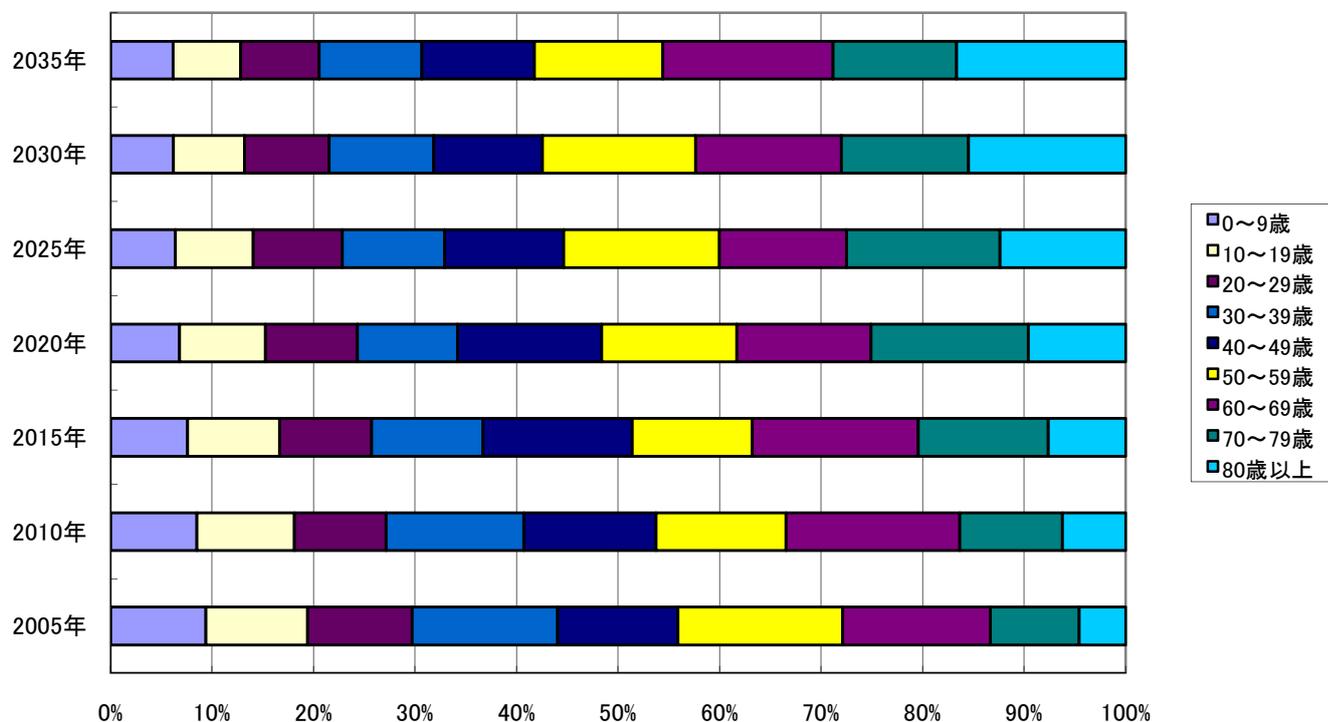
伊豆の国市 年齢別人口構成比率



函南町

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	38,803	38,494	37,783	36,702	35,304	33,699	31,975
0～9歳	3,642	3,271	2,858	2,492	2,246	2,083	1,967
10～19歳	3,892	3,698	3,436	3,101	2,708	2,363	2,131
20～29歳	3,990	3,477	3,418	3,334	3,102	2,806	2,466
30～39歳	5,564	5,220	4,144	3,618	3,562	3,474	3,233
40～49歳	4,596	5,016	5,553	5,203	4,136	3,615	3,555
50～59歳	6,295	4,937	4,474	4,890	5,416	5,082	4,044
60～69歳	5,648	6,579	6,173	4,852	4,421	4,837	5,361
70～79歳	3,401	3,900	4,845	5,688	5,341	4,222	3,887
80歳以上	1,775	2,398	2,883	3,523	4,374	5,219	5,331

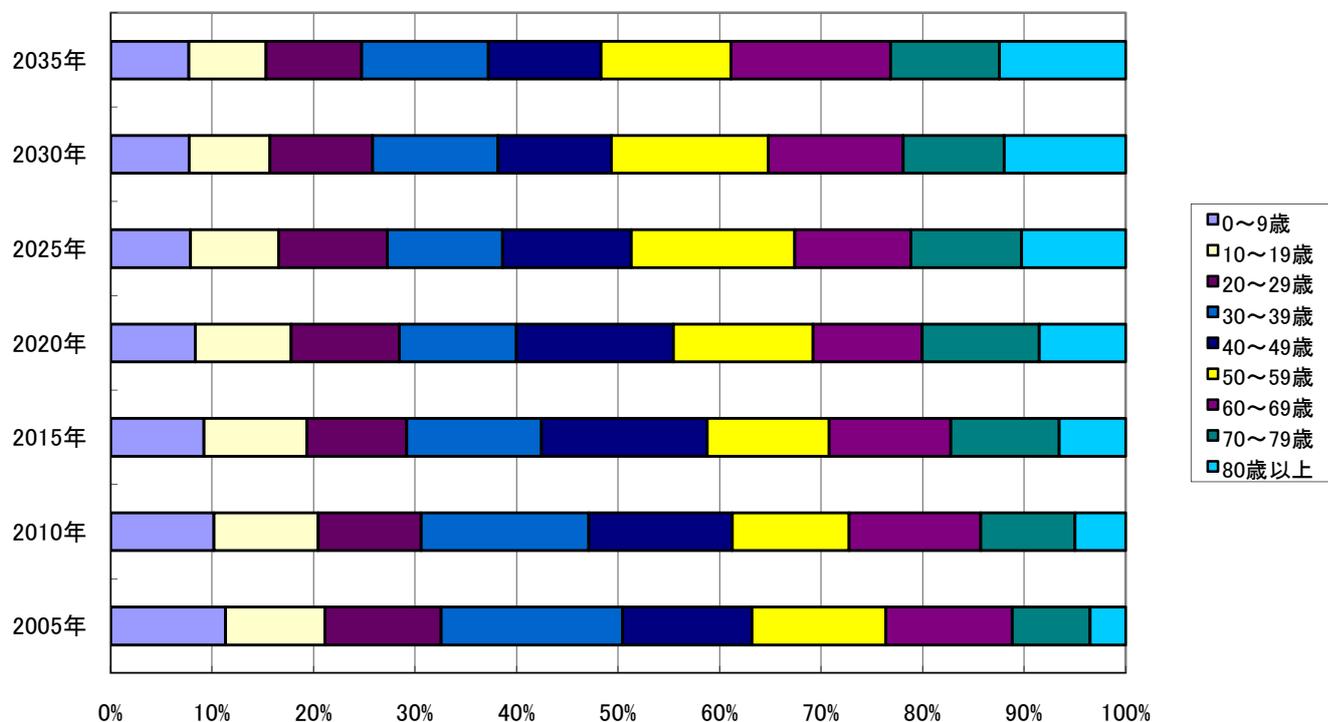
函南町 年齢別人口構成比率



清水町

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	31,961	32,412	32,363	32,034	31,477	30,784	29,979
0～9歳	3,616	3,296	2,974	2,669	2,477	2,381	2,313
10～19歳	3,127	3,332	3,286	3,030	2,732	2,452	2,278
20～29歳	3,663	3,288	3,179	3,407	3,368	3,109	2,818
30～39歳	5,713	5,348	4,296	3,699	3,579	3,805	3,746
40～49歳	4,066	4,583	5,281	4,956	3,984	3,433	3,329
50～59歳	4,217	3,738	3,894	4,403	5,074	4,765	3,835
60～69歳	3,979	4,200	3,869	3,446	3,601	4,083	4,713
70～79歳	2,458	3,007	3,462	3,701	3,433	3,067	3,215
80歳以上	1,119	1,622	2,121	2,725	3,230	3,687	3,732

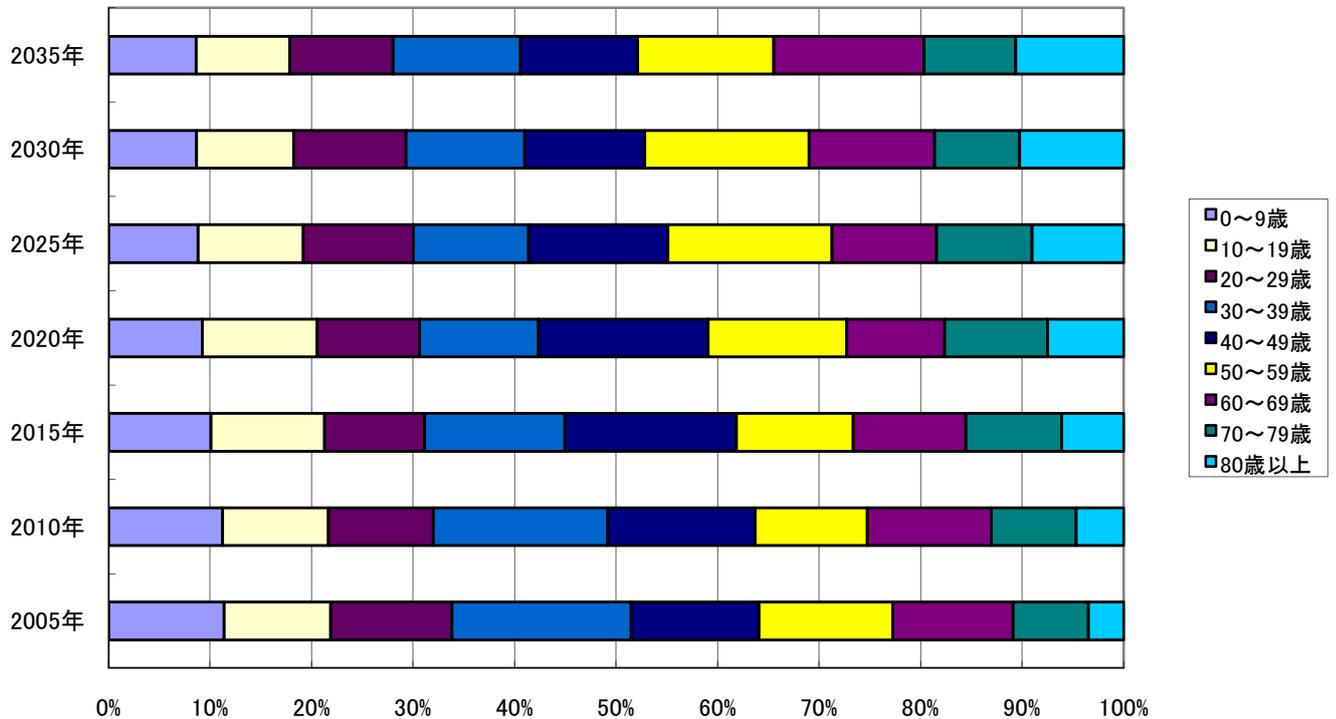
清水町 年齢別人口構成比率



長泉町

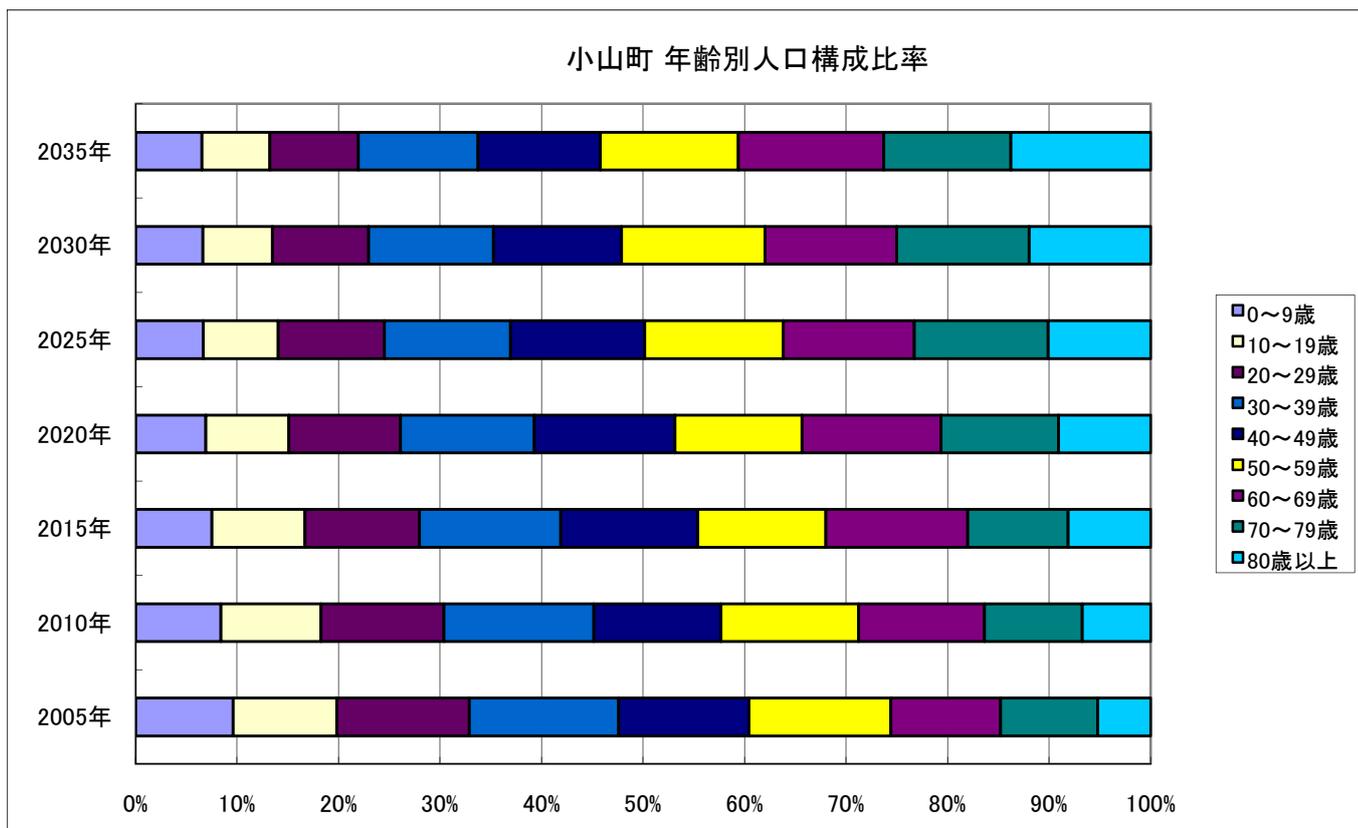
総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	38,716	40,318	41,163	41,621	41,710	41,584	41,355
0～9歳	4,403	4,521	4,154	3,836	3,680	3,603	3,572
10～19歳	4,070	4,212	4,605	4,713	4,320	3,980	3,810
20～29歳	4,618	4,159	4,049	4,193	4,525	4,593	4,213
30～39歳	6,836	6,927	5,687	4,880	4,732	4,867	5,190
40～49歳	4,880	5,857	6,959	6,962	5,724	4,923	4,769
50～59歳	5,104	4,456	4,737	5,676	6,746	6,728	5,536
60～69歳	4,592	4,930	4,571	4,020	4,288	5,147	6,129
70～79歳	2,864	3,375	3,888	4,218	3,932	3,472	3,727
80歳以上	1,349	1,883	2,511	3,122	3,763	4,273	4,408

長泉町 年齢別人口構成比率



小山町

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	21,478	20,646	19,828	18,924	17,981	17,011	15,997
0～9歳	2,062	1,735	1,491	1,310	1,200	1,126	1,047
10～19歳	2,193	2,033	1,813	1,543	1,326	1,166	1,070
20～29歳	2,808	2,505	2,238	2,087	1,881	1,615	1,394
30～39歳	3,159	3,046	2,762	2,492	2,234	2,092	1,883
40～49歳	2,752	2,586	2,677	2,624	2,375	2,143	1,927
50～59歳	3,003	2,800	2,502	2,369	2,454	2,407	2,177
60～69歳	2,323	2,556	2,770	2,592	2,323	2,205	2,291
70～79歳	2,057	1,995	1,964	2,184	2,372	2,223	2,004
80歳以上	1,121	1,390	1,611	1,723	1,814	2,036	2,203



(6) 昼間人口・通勤、
(平成17年)

通学者状況
(国勢調査)

平成17年10月1日現在

単位:人

区 分	⑦+③+⑥ 昼間人口	従 業 者					③=①-② 流入・流出 人口差	通 学 者		
		A + ① 総 数	A 自市区町内 で 従 業	① 流 入 他市区町 及び他県 より	② 流 出 他市区町 及び他県 へ	通 学 者 B + ④ 総 数		B 自市区町内で通学		
								15歳以上	15歳未満	
県 計	3,783,248	1,992,638	1,436,834	555,804	553,813	1,991	470,953	107,171	294,084	
静 岡 市	727,210	380,079	257,039	123,040	103,773	19,267	95,798	23,654	51,195	
葵 区	290,425	152,358	96,074	56,284	37,326	18,958	40,192	8,772	19,382	
駿河区	212,082	112,632	69,809	42,823	39,395	3,428	28,399	7,221	14,999	
清水区	224,703	115,089	91,156	23,933	27,052	△ 3,119	27,207	7,661	16,814	
浜 松 市	806,370	426,446	386,501	39,945	37,286	2,659	104,060	34,049	63,282	
沼 津 市	225,199	120,078	80,947	39,131	25,590	13,541	29,162	6,271	16,026	
熱 海 市	42,721	22,824	16,161	6,663	3,945	2,718	2,936	365	2,236	
三 島 市	108,048	50,624	29,404	21,220	26,738	△ 5,518	16,901	3,431	8,762	
富士宮市	114,562	56,157	45,094	11,063	18,094	△ 7,031	15,485	3,615	9,916	
伊 東 市	69,775	32,654	29,388	3,266	4,693	△ 1,427	6,842	1,567	5,106	
島 田 市	90,582	46,843	34,203	12,640	17,819	△ 5,179	12,059	2,217	7,654	
富 士 市	239,110	126,200	97,750	28,450	22,873	5,577	28,833	6,434	20,607	
磐 田 市	171,302	94,802	63,324	31,478	29,893	1,585	20,103	4,636	13,086	
焼 津 市	106,892	52,415	35,784	16,631	27,219	△ 10,588	12,226	1,696	9,247	
掛 川 市	117,460	67,027	45,410	21,617	20,404	1,213	13,608	2,752	9,338	
藤 枝 市	118,127	56,977	37,812	19,165	30,064	△ 10,899	16,389	2,816	10,332	
御 殿 場 市	84,959	47,126	34,150	12,976	12,842	134	9,823	1,754	7,157	
袋 井 市	81,870	44,607	26,266	18,341	19,201	△ 860	10,428	1,607	6,610	
下 田 市	27,524	13,482	11,051	2,431	1,862	569	3,048	767	1,726	
裾 野 市	54,927	31,628	17,111	14,517	11,465	3,052	5,628	702	4,298	
湖 西 市	50,351	31,752	16,988	14,764	7,306	7,458	4,497	756	3,421	
伊 豆 市	33,846	16,876	13,048	3,828	6,103	△ 2,275	3,874	645	2,789	
御 前 崎 市	33,424	19,233	13,420	5,813	6,564	△ 751	3,374	494	2,562	
菊 川 市	45,184	24,743	16,268	8,475	10,958	△ 2,483	6,307	975	3,702	
伊豆の国市	47,583	23,833	15,053	8,780	11,217	△ 2,437	6,358	836	3,926	
東伊豆町	14,757	7,403	6,065	1,338	1,654	△ 316	1,447	263	1,044	
河津町	7,579	3,765	3,005	760	1,267	△ 507	597	45	552	
南伊豆町	9,425	4,401	3,624	777	1,205	△ 428	791	112	633	
松崎町	7,642	3,389	2,774	615	1,189	△ 574	925	197	547	
西伊豆町	10,242	5,060	4,021	1,039	954	85	641	49	590	
函南町	31,184	12,688	7,643	5,045	11,693	△ 6,648	3,946	385	3,148	
清水町	31,565	16,445	6,582	9,863	9,825	38	3,796	460	2,802	
長泉町	38,274	20,342	8,715	11,627	11,128	499	4,358	460	2,962	
小山町	22,259	12,726	7,091	5,635	4,692	943	2,627	283	1,856	
芝川町	7,871	3,610	1,915	1,695	3,125	△ 1,430	865	66	789	

学 者					C 従業も通学 も して い な い	⑦ 常住人口 (夜間人口) 労働力状態 「不詳」を含む	⑧ 年 齢 不 詳	⑦+⑧ 総 人 口
④ 流 入 他市区町及び他県より		⑤ 流 出 他市区町及び他県へ		⑥=④-⑤ 流入・流出 人口差				
15歳以上	15歳未満	15歳以上	15歳未満					
64,470	5,228	70,534	5,234	△ 6,070	1,284,565	3,787,327	5,050	3,792,377
18,577	2,372	11,987	1,594	7,368	242,786	700,575	311	700,886
10,556	1,482	3,025	271	8,742	92,103	262,725	39	262,764
5,805	374	4,659	918	602	69,725	208,052	3	208,055
2,216	516	4,303	405	△ 1,976	80,958	229,798	269	230,067
6,379	350	3,948	67	2,714	266,114	800,997	3,035	804,032
6,298	567	3,070	137	3,658	74,184	208,000	5	208,005
325	10	986	84	△ 735	16,191	40,738	464	41,202
4,572	136	3,099	216	1,393	39,281	112,173	68	112,241
1,944	10	2,017	123	△ 186	42,457	121,779	-	121,779
156	13	836	44	△ 711	29,257	71,913	528	72,441
1,980	208	2,375	130	△ 317	31,440	96,078	-	96,078
1,705	87	4,485	235	△ 2,928	81,824	236,461	13	236,474
2,304	77	3,343	216	△ 1,178	54,419	170,895	4	170,899
1,267	16	3,578	333	△ 2,628	41,663	120,108	1	120,109
1,507	11	2,910	213	△ 1,605	36,015	117,852	5	117,857
3,047	194	3,159	229	△ 147	44,119	129,173	75	129,248
878	34	1,924	103	△ 1,115	27,527	85,940	36	85,976
2,038	173	2,349	117	△ 255	25,820	82,985	6	82,991
542	13	152	4	399	10,872	26,556	1	26,557
464	164	1,745	69	△ 1,186	17,197	53,061	1	53,062
294	26	1,345	65	△ 1,090	13,581	43,983	74	44,057
425	15	928	18	△ 506	13,046	36,627	-	36,627
312	6	1,050	361	△ 1,093	10,553	35,268	4	35,272
1,500	130	1,329	108	193	13,756	47,474	28	47,502
1,537	59	1,248	62	286	17,055	49,734	277	50,011
135	5	196	4	△ 60	5,896	15,133	32	15,165
-	-	211	6	△ 217	3,216	8,303	-	8,303
41	5	190	6	△ 150	4,229	10,003	-	10,003
179	2	66	3	112	3,326	8,104	-	8,104
1	1	214	3	△ 215	4,539	10,372	-	10,372
407	6	1,327	57	△ 971	14,425	38,803	-	38,803
524	10	881	84	△ 431	11,101	31,958	3	31,961
930	6	1,759	118	△ 941	13,215	38,716	-	38,716
484	4	633	17	△ 162	6,813	21,478	-	21,478
1	9	400	6	△ 396	3,382	9,697	-	9,697

資料 総務省統計局「平成17年国勢調査報告」

静岡県総合計画

富国有徳の理想郷
“ふじのくに”のグランドデザイン

基本構想

平成 23 年 2 月

静岡県

2 地域圏

(1) 地域区分の考え方

東西の大都市圏の大きな影響を受けやすい環境下にあつて、将来に向けて自立的、持続的に発展可能な“ふじのくに”を支える、日本の真ん中で存在感を発揮する地域づくりを進める観点から、都市機能等の集積のメリット等を考慮し、政令指定都市並みの人口規模(70~100万人程度)を目安とし、次の視点に立って地域圏を設定する。

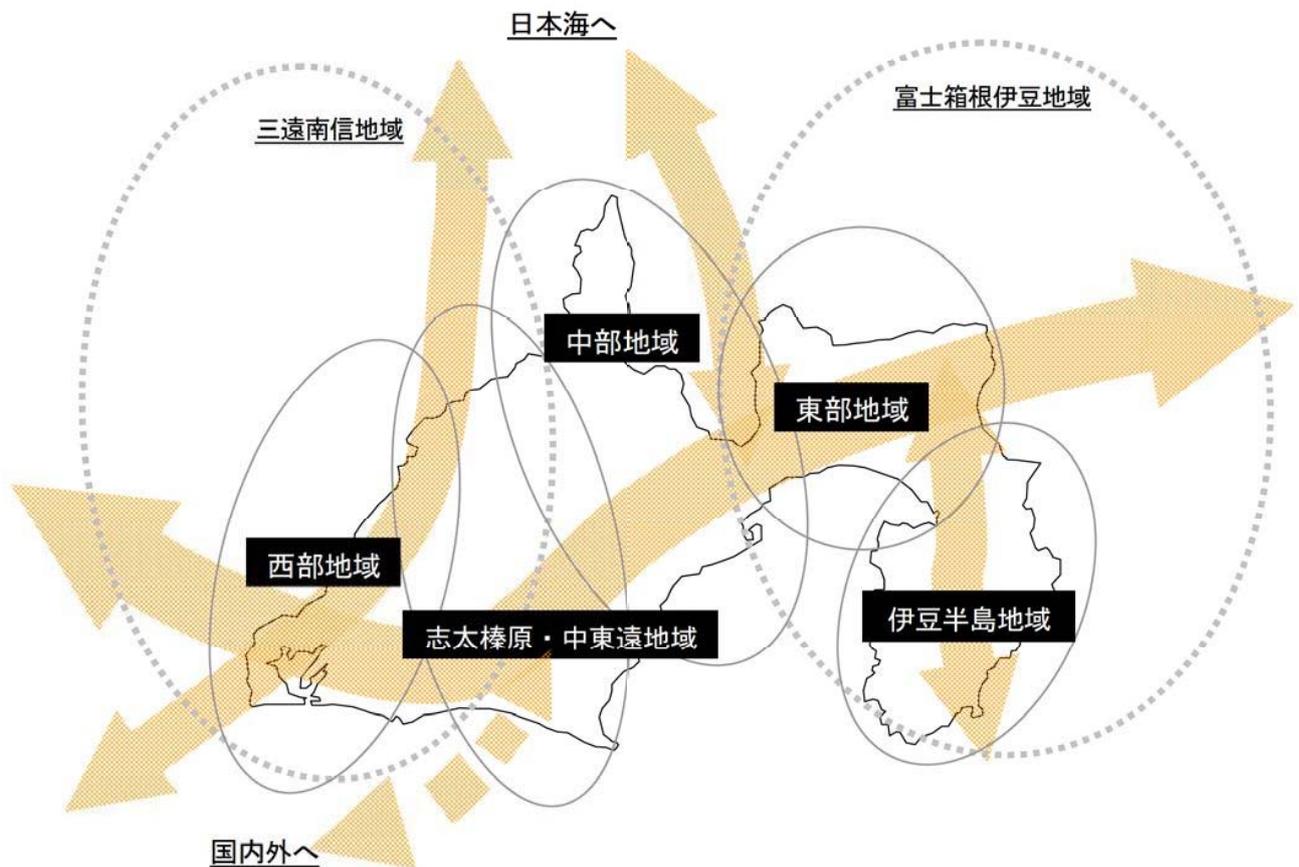
- 県と政令指定都市（静岡市、浜松市）との連携・役割分担による地域づくりの必要性
- 東部地域における都市間連携による広域的な地域づくりの必要性
- 富士山静岡空港周辺地域における新たな地域発展に向けた地域づくりの必要性
- 伊豆半島地域における観光等の特性を踏まえた地域振興の必要性

(2) 地域区分

(1)の考え方に基づき、次の5地域を目安とし、地域づくりを進める。

ただし、圏域は、様々な機能に応じて重複的かつ重層的に存在し、また、社会経済情勢や、交通・情報通信網、産業構造等の動向等に伴い絶えず変化するとともに、今後、道州制をはじめ、地域構造の変化につながる動きが活発化していくことが見込まれる。

したがって、地域区分は厳密に区切られるものとは捉えず、更なる広域化の動きに柔軟に対応し、ボーダレスな視点から広域的な施策を展開する。



高度情報通信ネットワーク社会への対応と観光交流圏の形成を図るため、光ファイバ等を利用したブロードバンドのサービスが利用可能な地域の拡大など情報通信基盤の整備を促進する。

（２）東部地域 『日本のシンボル富士山を世界との交流舞台とした健康交流都市圏』

人々を惹きつける日本一の富士山を仰ぎ、世界的な観光地を有する富士箱根伊豆地域の中核都市圏にふさわしい、商業、コンベンション、教育など高次都市機能の充実とともに、医療健康関連の研究開発や産業集積の促進による一大医療・健康ゾーンの形成を図り、世界との交流舞台となる魅力的な拠点地域を創造する。

また、地域内では、一体的な「100 万人都市圏」を形成するとともに、伊豆半島地域や県境を越えた周辺地域を含めた「200 万人都市圏」の形成も視野に入れ、広域的な交流・連携を促進する。

＜主な施策の基本方向＞

① 世界との交流舞台となる魅力ある健康交流都市圏の形成

日本のシンボル富士山を仰ぎ、首都圏に近接し、山梨県・神奈川県との交流の中心地域であるという環境を生かし、国内外からの交流人口の拡大を図り、世界との交流舞台となる一体的な都市圏を形成する。

コンベンション等の高次都市機能の集積により、圏域の求心力を高めるとともに、各主要都市は、駅周辺の都市機能の高度化と、医療健康関連産業の集積を図るなど、地域の個性を創出するまちづくりを行い、都市間等の効果的・効率的な機能分担・補完による魅力的な都市圏を形成する。

② ファルマバレーなど産学官の連携による活力ある産業づくり

健康や医療、医薬品産業の集積を図るファルマバレープロジェクトを一層推進するとともに、産学官の連携強化による共同研究の推進や人材育成等による地域企業の研究開発力の向上等を通じて、地域産業の高度化を図るほか、製紙等の地場産業においては付加価値の高いものづくりを促進する。

畜産物や富士ひのき、ひもの等の農林水産物のブランド化や、農林漁業と食品加工業、健康・医療産業、観光との結合による新たな取組を進め、地産地消を軸にした地域産業の活性化を促進する。

③ 富士山をはじめとする多彩な資源を生かした魅力づくり

富士山の世界文化遺産登録への取組を推進するとともに、その豊かな恵みを後世に継承するため、多様な生態系の保全等の様々な活動を展開する。

富士山麓等の名所や豊かな自然、歴史文化等を生かし、富士山ブランドの創出に向けた取組を促進する。

伊豆半島地域や、神奈川県、山梨県との交流・連携を強化し、「富士箱根伊豆交流圏構想」の着実な推進を図るとともに、富士山静岡空港を活用した周遊・滞在型の観光

ルートづくりなど、広域的な観光交流の取組を促進する。

④ 健康交流都市圏の形成を促進する交通・情報等のネットワーク化

新東名高速道路や東駿河湾環状道路、地域内の主要道路の整備を推進するとともに、鉄道駅及び駅周辺の機能強化や鉄道の輸送力の増強の働きかけ、バス等の利便性向上、田子の浦港の港湾機能の高度化など、交通ネットワークの充実を促進する。

高度情報通信ネットワーク社会への対応と健康交流都市圏の形成を図るため、光ファイバ等を利用したブロードバンドのサービスが利用可能な地域の拡大など情報通信基盤の整備を促進する。

(3) 中部地域 『日本の理想郷“ふじのくに”の県都にふさわしい中枢都市圏』

“ふじのくに”の県都にふさわしい、商業、情報、コンベンション、芸術文化など高次都市機能の充実や、大学のまちづくり、伝統に根ざした特色ある産業の育成等により広域的な求心力を高めるとともに、都市部から中山間地域まで含む自然豊かな政令指定都市としての特徴を生かしながら、ふじのくにの中枢機能を担う拠点地域を創造する。

また、ふじのくにの中枢都市圏として、県内や国内各地、海外とヒト、モノ、情報が行き交う多彩な広域交流を促進する。

<主な施策の基本方向>

① “ふじのくに”の県都として求心力のある中枢都市圏の形成

県都の中枢都市圏として求心力のある高次都市機能を備えた、国内外とヒト、モノ、情報が行き交う活力ある交流拠点の形成に向けて、駅周辺の商業・業務機能の高度化や、学・住一体の「カレッジタウン」など新たな都市拠点づくりを促進する。

また、高度医療やスポーツ拠点の充実を図るとともに、都市と中山間地域との交流により自然の潤いを享受できる都市圏を形成する。

② フーズ・サイエンスヒルズなど産学官の連携による活力ある産業づくり

フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトを一層推進し、産学官の連携を強化することにより、茶、みかん、かつお等の地元産品の機能性等を活用した製品開発を進めるほか、地域産業の技術の高度化や付加価値の高いものづくりの促進、新たな産業の創出を図る。

サクラエビや茶、木材等の多彩な農林水産物のブランド力を強化するとともに、地域の大学や企業等との連携による新たな魅力づくりと地産地消の推進により、地域産業の活性化を促進する。

③ 駿河湾から南アルプスまでの多彩な資源を生かした魅力づくり

奥大井・南アルプス地域におけるエコ・ツーリズム等の推進や南アルプスの雄大な自然の保全を図る取組等を促進する。

駿河湾から南アルプスまでの多種多様な自然、東海道の町並み等の歴史文化、舞台芸術公園等の芸術文化など、特色ある地域資源を組み合わせた魅力づくりや、国内外